

令和元年度 決算状況(市区町村)

総務省

- 目次 -

都道府県名

岐阜県

市区町村名 ページ

岐阜市	2	海津市	22	御嵩町	42			
大垣市	3	岐南町	23	白川村	43			
高山市	4	笠松町	24					
多治見市	5	養老町	25					
関市	6	垂井町	26					
中津川市	7	関ヶ原町	27					
美濃市	8	神戸町	28					
瑞浪市	9	輪之内町	29					
羽島市	10	安八町	30					
恵那市	11	揖斐川町	31					
美濃加茂市	12	大野町	32					
土岐市	13	池田町	33					
各務原市	14	北方町	34					
可児市	15	坂祝町	35					
山県市	16	富加町	36					
瑞穂市	17	川辺町	37					
飛騨市	18	七宗町	38					
本巣市	19	八百津町	39					
郡上市	20	白川町	40					
下呂市	21	東白川村	41					

決算状況

[illegible]

(注) 1. 普通建設事業費等の補助事業費に受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入総額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は母数を就業人口総数とし、分類不明の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の10月1日現在の住民基本台帳に登記されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況を示すためとした「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(円)」及び「一人当たり平均給料月額(円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通電設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分額不能の産業を除いて算出。

4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都府県、全国の状況をとりとめた「全国都府県市区町村面積調」(国土地理院)による。

6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数及び人は人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

7

(注) 1. 普通電設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分額不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都府県、全国の状態をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数及び人は人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通道庁事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は母数を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の10月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況を取りまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「1人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通道設事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含み、単独事業費には施設他団体施行事業負担金及び受託事業費のうち施設他事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分子を就業人口総数とし、分母の額を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
人口については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた『全国都道府県市区町村別面積調』（国土地理院）による。
5. 個人情報保護の観点から、対象となる職員が法人又は人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通道庁事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分子を就業人口総数とし、分母不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人所得保障の観点から、対象としない職員が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アタリタス(※)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

令和元年度 決算状況				平成27年国調 平成22年国調 増減率	33,585人 36,314人 -7.5%	人 人 %	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産業構造	都道府県名	団体名	市町村類型	1-3														
				面人口密度	851.21km ² 39人		令2.1.1 平31.1.1 増減率	32,008人 32,576人 -1.7%	31,481人 32,147人 -2.1%	区分 平成27年国調 平成22年国調	岐阜県	2202 下呂市																
歳入の状況（単位：千円・％）																												
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比																								
地方交付税	4,567,437	18.9	4,567,437	33.7																								
地方譲与税	257,700	1.1	257,700	1.9																								
利子割交付金	3,936	0.0	3,936	0.0																								
配当割交付金	15,690	0.1	15,690	0.1																								
株式等譲渡所得割交付金	8,359	0.0	8,359	0.1																								
分離課税所得割交付金	-	-	-	-																								
地方消費税交付金	624,434	2.6	624,434	4.6																								
ゴルフ場利用税交付金	3,726	0.0	3,726	0.0																								
特別地方消費税交付金	-	-	-	-																								
自動車取得税交付金	33,839	0.1	33,839	0.2																								
軽油引取税交付金	-	-	-	-																								
自動車税環境性能割交付金	10,033	0.0	10,033	0.1																								
地方持分税交付金等	104,361	0.4	104,361	0.8																								
内個人住民税徴収補填特例交付金	18,552	0.1	18,552	0.1																								
自動車税減収補填特例交付金	-	-	-	-																								
軽自動車税減収補填特例交付金	-	-	-	-																								
親子ども・子育て支援臨時交付金	85,809	0.4	85,809	0.6																								
地方交付税	8,485,770	35.1	7,862,369	58.1																								
非普通交付税	7,862,369	32.5	7,862,369	58.1																								
特別交付税	623,371	2.6	-	-																								
震災復興特別交付税（一般財源計）	-	0.0	-	-																								
交通安全対策特別交付金分担金・負担金	51,964	0.2	-	-																								
使費用料	326,563	1.4	24,999	0.2																								
手数料	153,216	0.6	-	-																								
国庫支出金	1,700,279	7.0	-	-																								
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-																								
都道府県支出金	1,274,747	5.3	-	-																								
財産収入	123,539	0.5	21,682	0.2																								
寄附金	198,778	0.8	-	-																								
繰越金	1,596,477	6.6	-	-																								
繰越金	1,365,873	5.7	-	-																								
諸収入	1,020,597	4.2	672	0.0																								
地方債	2,244,600	9.3	-	-																								
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-																								
うち臨時財政対策債	500,000	2.1	-	-																								
歳入合計	24,174,219	100.0	13,541,538	100.0																								
性質別歳出の状況（単位：千円・％）								目的別歳出の状況（単位：千円・％）				区分				令和元年度（千円）	平成30年度（千円）											
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等	基準財政収入額	基準財政需要額	標準税率	標準財政規模	実質収支比率（％）	断絶率	積立金	現在高	地方債	物件等購入	保証・補償	その他の実質的なもの	収益事業収入	土地開発基金現在高	徴収率（％）	合計	市町村民	純固定資産税
人件費	3,772,289	16.1	3,539,740	3,524,003	25.1	議会費	112,898	0.5	-	112,898	4,025,510	3,974,568	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち職員給与	2,603,314	11.1	2,457,283	-	-	総務費	3,226,161	13.8	186,697	2,604,131	11,896,919	11,627,007	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
扶助費	2,353,481	10.0	1,037,440	7.4	7.4	民生費	5,170,206	22.1	10,940	3,358,785	5,110,956	5,050,375	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公債費	2,802,392	12.0	2,741,487	19.5	19.5	衛生費	2,046,282	8.7	260,508	1,636,421	13,479,563	13,448,809	-	-</														

21

(注) 1. 普通電設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分額不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状態をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通電設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分額不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都府県、全国の状態をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数がい人又は人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通道庁事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は母数を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の10月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況を取りまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「1人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通道庁事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうち単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分子を就業人口総数とし、分母不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人所得保障の観点から、対象としない職員が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アタリタス(※)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

(注) 1. 普通道庁事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうち単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分子を就業人口総数とし、分母不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人所得保障の観点から、対象としない職員が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アタリタス(※)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

(注) 1. 普通電設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。

4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりとまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。

6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が人又は人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」とする。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通道設事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含み、単独事業費には施設他団体施行事業負担金及び受託事業費のうち施設他事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分子を就業人口総数とし、分母の額を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況を取りまとめた『全国都道府県市区町村別面積調』（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員が法人又は人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)

(注) 1. 普通道庁事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は母数を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の10月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況を取りまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「1人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通道庁事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうち単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分子を就業人口総数とし、分母不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人所得保障の観点から、対象としない職員が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アタリタス(※)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

令和元年度 決算状況				人 口 面 積 人 口 密 度	平成27年度 平成22年度 増減率 41.16 248	10,197 10,593 -3.7 %	人 口 密 度 41.16 248	区 分	住民基本台帳人口 平成27年度 平成31年度 増減率	うち日本人 10,012 10,111 -1.0 %	産 業 構 造	都 道 府 県 名	団 体 名	市 町 村 類 型	Ⅲ-1		
歳 入 の 状 況 (単位：千円・％)								区分	平成27年度調	平成22年度調	第1次 134 2.6 2.7 第2次 2,066 40.5 41.6 第3次 2,900 2,879 55.8	21 岐阜県	5031 川辺町	地方交付税種地	2-3		
区 分	決 算 額	構 成 比	経常一般財源等	構 成 比	市 町 村 税 の 状 況 (単位：千円・％)				指定団体等 の指定状況								
区 分	取 入 済 額	構 成 比	超過課税分	旧 新 産 業 特 別 税 等	旧 工 業 特 別 税 等	旧 山 産 産 業 特 別 税 等	過 疎 地 区 特 別 税 等	首 都 圏 特 別 税 等	近 畿 圏 特 別 税 等	中 部 圏 特 別 税 等						財政健全化等 指数表連定	財 源 超 過
地方譲与税	1,309,999	25.0	1,309,999	43.0	普通	1,309,999	100.0	-	低 開 発 地 区 特 別 税 等	旧 工 業 特 別 税 等	旧 山 産 産 業 特 別 税 等	過 疎 地 区 特 別 税 等	首 都 圏 特 別 税 等	近 畿 圏 特 別 税 等	中 部 圏 特 別 税 等	財政健全化等 指数表連定	財 源 超 過
地方譲与税	50,329	1.0	50,329	1.7	市 町 村 民 税	1,309,999	100.0	-	旧 工 業 特 別 税 等	旧 工 業 特 別 税 等	旧 山 産 産 業 特 別 税 等	過 疎 地 区 特 別 税 等	首 都 圏 特 別 税 等	近 畿 圏 特 別 税 等	中 部 圏 特 別 税 等	財政健全化等 指数表連定	財 源 超 過
利子割交付金	1,391	0.0	1,391	0.0	個人均等割	593,134	45.3	-	旧 工 業 特 別 税 等	旧 工 業 特 別 税 等	旧 山 産 産 業 特 別 税 等	過 疎 地 区 特 別 税 等	首 都 圏 特 別 税 等	近 畿 圏 特 別 税 等	中 部 圏 特 別 税 等	財政健全化等 指数表連定	財 源 超 過
配当割交付金	5,557	0.1	5,557	0.2	所得割	18,342	1.4	-	過 疎 地 区 特 別 税 等	過 疎 地 区 特 別 税 等	過 疎 地 区 特 別 税 等	過 疎 地 区 特 別 税 等	首 都 圏 特 別 税 等	近 畿 圏 特 別 税 等	中 部 圏 特 別 税 等	財政健全化等 指数表連定	財 源 超 過
株式等譲渡所得割交付金	2,985	0.1	2,985	0.1	所得割	463,420	35.4	-	首 都 圏 特 別 税 等	首 都 圏 特 別 税 等	首 都 圏 特 別 税 等	首 都 圏 特 別 税 等	首 都 圏 特 別 税 等	近 畿 圏 特 別 税 等	中 部 圏 特 別 税 等	財政健全化等 指数表連定	財 源 超 過
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	30,278	2.3	-	近 畿 圏 特 別 税 等	近 畿 圏 特 別 税 等	近 畿 圏 特 別 税 等	近 畿 圏 特 別 税 等	近 畿 圏 特 別 税 等	近 畿 圏 特 別 税 等	中 部 圏 特 別 税 等	財政健全化等 指数表連定	財 源 超 過
ゴルフ場利用税交付金	24,738	0.5	24,738	0.8	法人均等割	81,094	6.2	-	中 部 圏 特 別 税 等	中 部 圏 特 別 税 等	中 部 圏 特 別 税 等	中 部 圏 特 別 税 等	中 部 圏 特 別 税 等	中 部 圏 特 別 税 等	中 部 圏 特 別 税 等	財政健全化等 指数表連定	財 源 超 過
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	631,615	48.2	-	財政健全化等 指数表連定	財政健全化等 指数表連定	財政健全化等 指数表連定	財政健全化等 指数表連定	財政健全化等 指数表連定	財政健全化等 指数表連定	財政健全化等 指数表連定	財政健全化等 指数表連定	財政健全化等 指数表連定
自動車取得税交付金	8,210	0.2	8,210	0.3	うち純固定資産税	631,610	48.2	-	指数表連定	指数表連定	指数表連定	指数表連定	指数表連定	指数表連定	指数表連定	指数表連定	指数表連定
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	32,355	2.5	-	資源超過	資源超過	資源超過	資源超過	資源超過	資源超過	資源超過	資源超過	資源超過
自動車税環境性能割交付金	2,433	0.0	2,433	0.1	市町村たばこ税	52,895	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地方特例交付金等	49,601	0.9	49,601	1.6	鉱産地益税等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
内国入住民税減収補填特例交付金	9,431	0.2	9,431	0.3	法定外普通税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自動車税減収補填特例交付金	1,175	0.0	1,175	0.0	目的税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
軽自動車税減収補填特例交付金	338	0.0	338	0.0	入湯税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子ども・子育て支援臨時交付金	38,657	0.7	38,657	1.3	事業所税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地方交付税	1,485,797	28.3	1,413,611	46.4	都市計画税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
内普通交付税	1,413,611	26.9	1,413,611	46.4	水利地益税等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別交付税	72,186	1.4	-	-	法定外目的税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
農業災害復興特別交付税	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（一般財源計）	3,116,423	59.4	3,044,237	100.0	内入湯税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交通安全対策特別交付金	626	0.0	626	0.0	事業所税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
分担金・負担料	7,484	0.1	-	-	都市計画税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
使用料	88,342	1.7	-	-	水利地益税等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手数料	23,246	0.4	-	-	法定外目的税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国庫支出金	354,071	6.7	-	-	旧法による税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国有提供交付金	-	-	-	-	合 計	1,309,999	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（特別区財調交付金）	-	-	-	-	内入湯税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
都道府県支出金	276,641	5.3	-	-	事業所税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
財産収入	13,675	0.3	-	-	都市計画税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
寄附金	264,619	5.0	-	-	水利地益税等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
繰入金	256,283	4.9	-	-	法定外目的税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
繰越金	277,632	5.3	-	-	旧法による税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
諸収入	116,334	2.2	26	0.0	合 計	1,309,999	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地方債	451,023	8.6	-	-	内入湯税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-	事業所税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	142,123	2.7	-	-	都市計画税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
歳入合計	5,246,399	100.0	3,044,889	100.0	水利地益税等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性質別歳出の状況 (単位：千円・％)								目的別歳出の状況 (単位：千円・％)				区 分				令和元年度(千円)	平成30年度(千円)
区 分	決 算 額	構 成 比	充当一般財源等	構 成 比	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区 分	決 算 額	構 成 比	(A)のうち	(A)の	基準財政収入額	1,246,587	1,215,929			
人件費	833,980	16.7	780,169	774,835	774,835	24.3	費	58,620	1.2	普通建設事業費	3,110	基準財政需要額	2,662,543	2,612,225			
うち職員給料	482,327	9.7	466,538	-	-	-	費	947,655	19.0	非常勤公務員等	32,289	標準税収入額等	1,583,786	1,543,766			
扶助費	588,948	11.8	206,922	206,922	206,922	6.5	費	1,424,884	28.5	退職手当	104,088	標準財政規模	3,139,520	3,116,064			
公債費	365,456	7.3	331,662	331,662	331,662	10.4	費	244,970	4.9	事務機共同	55	財政力指数	0.46	0.47			
内元利償還金	343,546	6.9	318,545	318,545	318,545	10.0	費	163,208	3.3	税務事務	207,218	実質収支比率(%)	7.0	7.0			
訳一時借入金	21,910	0.4	13,117	13,117	13,117	0.4	費	2,100	0.0	老人福祉	-	公債費負担比率(%)	9.3	8.8			
（義務的経費計）	1,788,284	35.8	1,318,753	1,313,419	1,313,419	41.2	費	76,850	1.5	伝染病	30,572	判断実質赤字比率(%)	-	-			
維持補修費	808,061	16.2	494,689	380,577	380,577	11.9	費	733,745	14.7	その他	79,559	断連続実質赤字比率(%)	-	-			
補助費等	30,477	0.6	19,041	18,251	18,251	0.6	費	345,283	6.9	-	14,909	比率実質公債費比率(%)	9.5	9.7			
うち一部事務組合負担金	591,387	11.8	464,038	401,503	401,503	12.6	費	634,275	12.7	-	538,452	率化将来負担比率(%)	-	-			
繰出金	251,599	5.0	251,484	225,923	225,923	7.1	費	365,456	7.3	-	189,702	積立金高	1,551,593	1,544,794			
繰立金	759,185	15.2	699,624	578,296	578,296	18.1	費	-	-	-	456,179	財政調整債	67,587	67,576			
投資・出資金・貸付金	350,841	7.0	77,629	-	-	-	費	-	-	-	331,662	特定目的債	1,361,058	1,263,372			
前年度繰上充用金	11,000	0.2	-	-	-	-	費	-	-	-	-	地方債現在高	3,929,946	3,822,469			
投資的経費	657,811	13.2	247,369	247,369	247,369	7.7	費	-	-	-	-	物件等購入	-	-			
うち人件費	14,366	0.3	14,366	2,692,046	2,692,046	83.4	費	4,997,046	100.0	657,811	3,321,143	保証・補償	-	-			
普通建設事業費	657,811	13.2	247,369	247,369	247,369	7.7	費	765,564	15.3	31,756	21,574	その他の	5,378	17,939			
うち補助金	170,100	3.4	16,504	84.5％（88.4％）	84.5％（88.4％）	8.5	費	392,451	7.8	31,756	21,574	実質的なもの	-	-			
うち単独	478,206	9.6	227,772	（減収補填債（特例分）及び臨時財政対策債除く）	（減収補填債（特例分）及び臨時財政対策債除く）	8.5	費	640	0.0	21,574	1,315	取益事業収入	-	-			
災害復旧事業費	-	-	-	-	-	-	費	63,203	1.3	2,148	90	土地開発基金現在高	174,885	174,839			
失業対策事業費	-	-	-	-	-	-	費	309,270	6.2	被保険者1人当り	314	徴収現行計	99.0	97.9			
歳入合計	4,997,046	100.0	3,321,143	3,570,496	3,570,496	83.4	費	309,270	6.2	被保険者1人当り	314	市町村民税	99.1	98.3			
出のその他	-	-	-	-	-	-	費	309,270	6.2	被保険者1人当り	314	純固定資産税	98.8	97.4			

（注）1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業費負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。

4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況を取りまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。

6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通電設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分額不能の産業を除いて算出。

4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都府県、全国の状態をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。

6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数及び人は人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通電設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分額不能の産業を除いて算出。

4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状態をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。

6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

令和元年度 決算状況				平成27年度 平成28年度 増減率		18,111 18,824 -3.8%		人 人 %		区 分		住民基本台帳人口		うち日本人		産 業 構 造		都 道 府 県 名		団 体 名		市 町 村 類 型		IV-1							
				面 口 密 度		56.69 319		km ²		増 減 率		平31.1.1 増 減 率		18,348 18,371 -0.1%		17,733 17,850 -0.7%		区分		平成27年度調		平成28年度調		21		5210		地方交付税種地		2-3	
歳 入 の 状 況				(単位:千円・%)														第1次		205 2.3 3,628 40.1 5,209 57.6		174 1.9 3,732 41.0 5,204 57.1		岐阜県		御嵩町					
区 分		決 算 額		構 成 比		経常一般財源等		構 成 比																平成30年度(千円)		令和元年度(千円)					
地 方 税		2,481,598		27.6		2,481,598		54.1																							
地 方 譲 与 税		86,227		1.0		86,227		1.9																							
利 子 割 交 付 金		2,532		0.0		2,532		0.1																							
配 当 割 交 付 金		10,095		0.1		10,095		0.2																							
株式等譲渡所得割交付金		5,368		0.1		5,368		0.1																							
分離課税所得割交付金		-		-		-		-																							
地方消費税交付金		323,674		3.6		323,674		7.1																							
ゴルフ場利用税交付金		96,521		1.1		96,521		2.1																							
特別地方消費税交付金		-		-		-		-																							
自動車取得税交付金		14,265		0.2		14,265		0.3																							
軽油引取税交付金		-		-		-		-																							
自動車税環境性能割交付金		4,230		0.0		4,230		0.1																							
地方特例交付金等		55,441		0.6		55,441		1.2																							
内個人住民税減収補填特例交付金		20,525		0.2		20,525		0.4																							
自動車税減収補填特例交付金		-		-		-		-																							
軽自動車税減収補填特例交付金		-		-		-		-																							
子ども・子育て支援臨時交付金		34,916		0.4		34,916		0.8																							
地方交付税		1,452,501		16.1		1,302,212		28.4																							
内普通交付税		1,302,212		14.5		1,302,212		28.4																							
特別交付税		150,289		1.7		-		-																							
農業災害復興特別交付税		-		-		-		-																							
(一般財源計)		4,532,452		50.4		4,382,163		95.6																							
交通安全対策特別交付金		1,175		0.0		1,175		0.0																							
交通安全・負担金		41,424		0.5		-		-																							
使用料		56,946		0.6		12,407		0.3																							
手数料		47,734		0.5		-		-																							
国庫支出金		505,917		5.6		-		-																							
国有提供交付金		-		-		-		-																							
(特別区財調交付金)		-		-		-		-																							
都道府県支出金		594,565		6.6		-		-																							
財産収		195,936		2.2		187,387		4.1																							
寄附入金		18,707		0.2		-		-																							
繰入		174,834		1.9		-		-																							
繰越金		274,682		3.1		-		-																							
諸収		1,937,498		21.5		59		0.0																							
地方債		613,490		6.8		-		-																							
うち減収補填債(特例分)		-		-		-		-																							
うち臨時財政対策債		254,690		2.8		-		-																							
歳入合計		8,995,360		100.0		4,583,191		100.0																							

性 質 別 歳 出 の 状 況 (単位:千円・%)										目 的 別 歳 出 の 状 況 (単位:千円・%)										区 分		令和元年度(千円)		平成30年度(千円)							
区 分		決 算 額		構 成 比		充当一般財源等		経常経費充当一般財源等		経常収支比率		区 分		決 算 額		構 成 比		(A)のうち (公 債)		(A)の 普通建設事業費		充当一般財源等		基 準 財 政 取 入 額		2,385,340		2,323,620			
人 件 費		1,084,040		12.5		996,290		991,346		20.5		議 会 費		81,393		0.9		-		81,393		-		基 準 財 政 需 要 額		3,689,643		3,619,099			
うち職員給料		720,097		8.3		639,802		-		-		総 務 費		1,320,365		15.2		16,281		1,173,097		-		標 準 税 収 入 額		3,035,281		2,950,456			
扶助費		1,127,856		13.0		460,005		459,468		9.5		民 生 費		2,175,318		25.0		22,737		1,280,372		-		標 準 財 政 規 模		4,592,183		4,558,970			
公 債 費		473,457		5.4		473,457		473,457		9.8		衛 生 費		464,686		5.3		6,519		413,136		-		財 政 力 指 数		0.65		0.65			
内元利償還金		451,201		5.2		451,201		451,201		9.3		農 業 費		465		0.0		-		465		-		実 質 取 支 比 率(%)		4.4		3.9			
訳一時借入金		22,256		0.3		22,256		22,256		0.5		農 林 水 産 業 費		169,510		1.9		37,999		129,218		-		公 債 費 負 担 比 率(%)		8.6		8.7			
(義務的経費計)		2,685,353		30.9		1,929,752		1,924,271		39.8		商 工 業 費		36,788		0.4		341		27,036		-		判 断 実 質 赤 字 比 率(%)		-		-			
物件費		1,017,321		11.7		831,909		680,578		14.1		土 木 費		798,881		9.2		197,333		680,910		-		断 連 結 実 質 赤 字 比 率(%)		6.8		7.1			
維持補修費		85,219		1.0		83,514		82,639		1.7		消 防 費		2,292,661		26.4		1,987,409		322,120		-		比 率 実 質 公 債 費 比 率(%)		-		-			
補助費等		1,228,931		14.1		1,131,758		904,914		18.7		教 育 費		881,261		10.1		266,779		631,776		-		非 化 将 来 負 担 比 率(%)		-		-			
うち一部事務組合負担金		495,235		5.7		487,435		429,266		8.9		災 害 復 旧 費		1,422		0.0		-		11		-		積 立 金 高		1,717,140		1,711,957			
繰出		663,959		7.6		551,189		542,641		11.2		公 債 費		473,457		5.4		-		473,457		-		調 債		504,534		504,362			
繰立		357,880		4.1		335,928		-		-		請 支 出 金		-		-		-		-		-		特 定 目 的		2,112,085		1,923,157			
投資・出資金・貸付金		120,724		1.4		108,524		108,524		2.2		前 年 度 繰 上 充 用 金		-		-		-		-		-		地 方 債 現 在 高		5,322,137		5,159,848			
前年度繰上充用金		-		-		-		-		-		歳 出 合 計		8,696,207		100.0		2,535,398		5,212,991		-		物 件 等 購 入		149,000		-			
投資的経費		2,536,820		29.2		240,417		240,417		-		経 常 経 費 充 当 一 般 財 源 等 計		4,243,567		千円		-		-		-		保 証 ・ 補 償		831,792		635,363			
投資のうち人件費		25,361		0.3		21,182		-		-		繰 公 合 計		1,138,382		会 国 実 質 取 支		25,391		-		-		そ の 他		-		-			
普通建設事業費		2,535,398		29.2		240,406		240,406		-		繰 下 水 道		470,000		計 民 再 差 引 収 支		11,754		-		-		取 益 事 業 取 入		-		-			
うち補助		47,631		0.5		12,298		87.7% (92.6%)		-		事 上 業 用 水 道		4,423		の 被 保 險 者 数 (世帯)		2,551		-		-		土 地 開 発 基 金 現 在 高		201,191		201,141			
うち単独		2,477,342		28.5		217,683		(減収補填債(特例分) 及び臨時財政対策債除く)		-		等 交 通 通		-		状 態		4,135		-		-		徴 収 現 計		99.5		97.4			
災害復旧事業費		1,422		0.0		11		-		-		へ 国 民 健 康 保 險		141,814		被 保 險 者 数 (人)		104		-		-		率 年 計		99.3		98.6			
失業対策事業費		-		-		-		-		-		出 の そ の 他		522,145		保 險 給 付 費		369		-		-		市 町 村 民 税		99.6		98.4			
歳 入 合 計		8,696,207		100.0		5,212,991		5,212,144 千円		-																					

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。

4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりとまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。

6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

令和元年度 決算状況				人 口 面 積 人 口 密 度	平成27年度 平成22年度 増減率 %	1,609 1,733 -7.2 %	人 口 密 度 5 人	区 分	住民基本台帳人口	うち日本人	産 業 構 造	都道府県名	団 体 名	市 町 村 類 型	I-2	
								令2.1.1 平31.1.1 増減率	1,608 1,630 -1.3 %	1,579 1,608 -1.8 %	区分 平成27年度 平成22年度	21	6046	岐阜県 白川村	地方交付税種地	2-1
歳入の状況 (単位:千円・%)											第1次 第2次 第3次	22 2.3 2.7 207 21.3 743 77.6	28 2.7 223 21.7			
区 分	決 算 額	構 成 比	經常一般財源等	構 成 比	市 町 村 税 の 状 況 (単位:千円・%)											
地 方 税	700,714	17.3	700,714	40.9	区 分	取 入 済 額	構 成 比	超過課税分	旧 新 産 業 特 別 税	×	×	×	×	×	×	×
地 方 割 与 税	23,923	0.6	23,923	1.4	普 通 税	689,711	98.4	92,224	低 開 発 地 区 特 別 税	×	×	×	×	×	×	×
利 子 割 交 付 金	263	0.0	263	0.0	市 町 村 民 税	689,711	98.4	92,224	旧 工 業 地 区 特 別 税	×	×	×	×	×	×	×
配 当 割 交 付 金	1,054	0.0	1,054	0.1	内 個人均等割	111,990	16.0	-	山 間 地 区 特 別 税	×	×	×	×	×	×	×
株式等譲渡所得割交付金	566	0.0	566	0.0	所 得 割	3,136	0.4	-	過 疎 地 区 特 別 税	○	○	○	○	○	○	○
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法 人 均 等 割	89,530	12.8	-	近 畿 道 市 町 村 民 税	×	×	×	×	×	×	×
地方消費税交付金	33,938	0.8	33,938	2.0	法 人 均 等 割	9,872	1.4	-	中 部 道 市 町 村 民 税	×	×	×	×	×	×	×
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法 人 均 等 割	9,452	1.3	-	財政健全化等	×	×	×	×	×	×	×
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	562,797	80.3	92,224	指数表連定	×	×	×	×	×	×	×
自動車取得税交付金	3,798	0.1	3,798	0.2	うち純固定資産税	513,324	73.3	92,224	財 源 超 過	×	×	×	×	×	×	×
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	5,955	0.8	-								
自動車税環境性能割交付金	1,125	0.0	1,125	0.1	市町村たばこ税	8,969	1.3	-								
地方特例交付金等	6,200	0.2	6,200	0.4	特別土地保有税	-	-	-								
内個人住民税減収補填特例交付金	339	0.0	339	0.0	法定外普通税	-	-	-								
自動車税減収補填特例交付金	543	0.0	543	0.0	目 的 税	11,003	1.6	-								
軽自動車税減収補填特例交付金	41	0.0	41	0.0	法 定 目 的 税	11,003	1.6	-								
子ども・子育て支援臨時交付金	5,277	0.1	5,277	0.3	内入湯税	11,003	1.6	-								
地方交付税	1,121,524	27.8	941,923	55.0	事 業 所 税	-	-	-								
内普通交付税	941,923	23.3	941,923	55.0	都 市 計 画 税	-	-	-								
特別交付税	179,601	4.4	-	-	水 利 地 益 税 等	-	-	-								
農業災害復興交付税	-	-	-	-	法 定 外 目 的 税	-	-	-								
(一般財源計)	1,893,105	46.9	1,713,504	100.0	旧 法 に よ る 税	-	-	-								
交通安全対策特別交付金	-	-	-	-	合	700,714	100.0	92,224								
分担金・負担金	33,345	0.8	-	-												
使 用 料	197,244	4.9	-	-												
手数料	7,854	0.2	-	-												
国庫支出金	599,252	14.8	-	-												
国有提供交付金	-	-	-	-												
(特別区財調交付金)	-	-	-	-												
都道府県支出金	123,396	3.1	-	-												
財産収入	130,679	3.2	-	-												
寄 附 金	93,805	2.3	-	-												
繰 入 金	145,756	3.6	-	-												
繰 越 金	244,032	6.0	-	-												
諸 収 入	142,253	3.5	33	0.0												
地方債	429,542	10.6	-	-												
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-												
うち臨時財政対策債	57,242	1.4	-	-												
歳 入 合 計	4,040,263	100.0	1,713,537	100.0												
性 質 別 歳 出 の 状 況 (単位:千円・%)																
区 分	決 算 額	構 成 比	充 当 一 般 財 源 等	経 常 経 費 充 当 一 般 財 源 等	経 常 収 支 比 率	区 分	決 算 額	構 成 比	(A)のうち	(A)の	基 準 財 政 収 入 額	514,500	504,835			
人 件 費	446,598	12.2	405,825	387,957	21.9	費 会 費	33,193	0.9	普通建設事業費	充 当 一 般 財 源 等	基 準 財 政 需 要 額	1,441,510	1,415,994			
うち職員給料	279,107	7.6	245,181	-	-	総 務 費	574,197	15.7	-	-	標 準 税 収 入 額	667,916	655,389			
扶 助 費	59,780	1.6	26,160	23,426	1.3	民 生 費	501,453	13.7	210,700	542,126	標 準 財 政 規 模	1,667,081	1,639,264			
公 債 費	345,094	9.4	345,094	345,094	19.5	衛 生 費	144,635	3.9	-	247,636	財 政 力 指 数	0.35	0.34			
内元利償還金	332,262	9.1	332,262	332,262	18.8	農 林 水 産 業 費	39,049	1.1	-	135,296	実 質 収 支 比 率(%)	20.5	13.7			
訳一時借入金	12,832	0.4	12,832	12,832	0.7	商 工 費	658,069	18.0	62,190	5,714	公 債 費 負 担 比 率(%)	14.1	12.9			
(義務的経費計)	851,472	23.2	777,079	756,477	42.7	土 木 費	432,848	11.8	129,036	93,649	判 断 実 質 赤 字 比 率(%)	-	-			
物 件 費	744,927	20.3	430,659	269,702	15.2	消 防 費	434,886	11.9	303,353	168,017	断 連 結 実 質 赤 字 比 率(%)	-	-			
維持補修費	92,327	2.5	54,307	22,268	1.3	教 育 費	194,022	5.3	18,334	191,489	比 率 実 質 公 債 費 比 率(%)	0.8	0.0			
補助費等	704,343	19.2	220,396	154,592	8.7	災 害 復 旧 費	304,222	8.3	76,309	143,172	率 化 将 来 負 担 比 率(%)	-	-			
うち一部事務組合負担金	395	0.0	395	395	0.0	公 債 費	1,750	0.0	-	167,233	積 立 金 調 償	2,471,007	2,457,707			
繰 出 金	184,146	5.0	175,849	121,519	6.9	請 支 出 金	345,094	9.4	-	33	現 在 高	220,000	220,000			
積 立 金	254,531	6.9	222,272	-	-	-	-	-	-	-	財 政 特 定 目 的	1,184,193	1,088,718			
投資・出資金・貸付金	30,000	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	地 方 債 現 在 高	3,812,070	3,714,790			
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	物 件 等 購 入	-	-			
投資的経費	801,672	21.9	192,090	192,090	11.2	繰 出 合 計	3,663,418	100.0	799,922	2,072,652	保 証 ・ 補 償	-	-			
うち人件費	18,907	0.5	9,987	9,987	0.6	経 常 経 費 充 当 一 般 財 源 等 計	1,324,558	千円	-	-	そ の 他	1,416	2,124			
普通建設事業費	799,922	21.8	192,057	192,057	11.2	経 常 収 支 比 率	74.8 % (77.3 %)	-	-	-	実 質 的 な も の	-	-			
うち補助金	291,116	7.9	18,871	18,871	1.1	(減収補填債(特例分)	-	-	-	-	取 益 事 業 収 入	-	-			
うち単独	481,576	13.1	156,876	156,876	9.1	及 び 臨 時 財 政 対 策 債 除 く)	-	-	-	-	土 地 開 発 基 金 現 在 高	33,000	33,000			
災害復旧事業費	1,750	0.0	33	33	0.0	歳 入 一 般 財 源 等	2,449,497	千円	-	-	徴 収 現 行 計	99.6	98.1			
失業対策事業費	-	-	-	-	-	出 の そ の 他	62,266	況 勢	-	-	率 年 一	99.6	98.2			
歳 入 合 計	3,663,418	100.0	2,072,652	2,072,652	56.6						(%)	純 固 定 資 産 税	99.6	97.8		

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。

4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりとまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。

6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)